

令和6年度 第5回奄美市子ども・子育て会議 議事録

開催日時	令和7年1月29日(水)10:00~12:00
開催場所	AiAiひろば 2階多目的ホール
出席者 (12名)	平田委員長, 加世田副委員長, 正本委員, 吉村委員, 福崎委員, 福田委員 川内委員, 稲田委員, 肥後委員, 川畑委員, 西谷委員, 垣内委員
事務局	福祉事務所長, こども未来課, 福祉政策課, 健康増進課, 重点政策推進監, 学校教育課 住用総合支所市民福祉課, 笠利総合支所いきいき健康課, 笠利総合支所地域教育課,
〈議題〉	1 開会 2 協議 第3期子ども・子育て支援事業計画素案について 3 閉会
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)	
<p>協議 第3期子ども・子育て支援事業計画案について</p> <p>事務局より資料1, 資料2に沿って、計画案の説明 (委員長)</p> <p>新旧対象一覧のNo.8の笠利地区において以降は計画案とどちらが正しいか。また、案の88ページの「障害児相談支援」以降は赤字になっているが修正なしの黒字でよいか。</p> <p>(事務局)</p> <p>No.8は新旧対象一覧が正しい。案の88ページは修正なしの黒字である。</p> <p>質疑は以下のとおり</p> <p>(委員)</p> <p>計画内の「子ども」の表記について、計画は感じで「子ども」とあり、こども家庭庁はひらがなの「こども」を推奨しているが、漢字とひらがなで市として使い分けをしているか。</p> <p>(事務局)</p> <p>国の子ども・子育て支援法に基づく計画のため、漢字表記としている。こども家庭庁がこども計画策定を努力義務としているが、同計画内ではこども表記を推奨している。</p> <p>(委員)</p> <p>チャレンジ・ド・プランでは、「障害」の表記理由を示している。関係機関が見る際に気にする場所があると感じた。</p> <p>(委員)</p> <p>計画案69ページにて受け取り方だが、思春期とは小学生高学年から中学と思うが、「子どもを産んで育てることを考える」と受け取ってしまうそうである。若年層で産んで育てるということを小中学生に教育するということだと思うが、「思春期の子どもがどうやって産んで育てたらいいか考える」と受け取れてしまわないか。</p>	

(事務局)

意見のように受け取れると感じた。伝えたいことは、子どもたちに自分の人生設計をもって性を考えるという大きな目的により活動しているので、「思春期」もしくは「産み育てる」の表現を再検討したい。

(委員長)

現在の意見を反映させた計画案にてパブリックコメントを実施してよいか。

(異議なし)

(委員長)

事務局によりパブリックコメントの実施をお願いします。

パブリックコメントの詳細について

事務局より資料3に沿って説明

質疑は以下のとおり

(副委員長)

保育所の園長と併せて父親という立場から、計画案の67ページで父親目線のもの少なく、意見を出せていなかったと感じた。パブリックコメントでは父親からの意見を拾えるような取り組みをしてほしい。

(委員)

パブコメを経験した際に、個人情報提示があり躊躇した。提示せずには可能か。

(事務局)

パブリックコメントは公的な意見募集なので、身分の明示は必須となる。ただ未来計画策定におけるパブリックコメントでは、参考意見として無記名の意見も募集した。

放課後児童クラブ公募結果の報告について

事務局より参考資料2に沿って説明

事務局より今後の会議スケジュールを確認

会議終了